

教科	学級	単元名	教材について	授業者
① 国語	1 D	現代社会を問う (短編小説)	突然「個人情報が流出しているよ」と告げられたら、どう思うでしょうか。誰にでも起こりえる個人情報の流出について描かれた短編小説を読み解きます。そして、情報の流出よりも恐ろしいことがあるのではないかと考え、意見交流をします。現代社会の問題点に迫る子どもの姿に注目です。	今泉 匡博
② 社会	1 A	アフリカの真実 (世界の諸地域)	この夏、モザンビークにおけるプロサバンナ事業の中止が決まりました。JICAを中心に進められてきたこの大規模農業開発をどう見るか。そして、日本とモザンビークが共に豊かになれる支援・開発のあり方について迫っていく子どもの姿に注目です。	奥村 仁
③ 保体	3 C	From Fist to Fist 『ファウストボール』 (球技・ネット型)	夢中でゲームを繰り返し行い、「勝つためにはどうすればよいだろうか」という問いに対する思い・考えを交流しました。そして、パスをつなぐこと、仲間と声をかけ合うことの重要性を再認識しました。守備のレベルが高まり、相手コートに返球するだけでは得点できなくなり、「より攻撃的な返球で得点を重ねるにはどうすればよいか」という問題を見いだしました。さまざまな視点から、問題にアプローチする子どもの姿に注目です。	佐藤 裕一
④ 技術	2 C	モビリティ社会を考える (エネルギー変換の技術、 情報の技術)	自動車の電動化と自動化が進む中で、全ての人が幸せになるモビリティ社会の構築について考えています。MaaSが構築されるであろう未来に対し、移動手段の全てがつながるようになれば、「ラストワンマイル」が課題となります。モビリティ社会を見つめていく中で、本当に必要なことは何かに迫っていく子どもの姿に注目です。	齋藤 悟
⑤ 家庭	3 B	過去も未来も生きる家 (衣食住の生活、家族・家庭 生活)	現在、空き家の中でも「住まないけれど残したい家」をどうすべきかについて、個人追究を進めています。企業、行政、大学、NPO などたくさんのかたに取材をしながら、空き家を生まないためにできることや空き家の活用を考えています。意見交流をとおして、子どもが空き家をどのように見つめていくのかに注目です。	武藤 良子
⑥ 国語	3 C	言葉で彩られる世界 (キャッチコピー)	附属中学校のキャッチコピーを考えています。未来の附中生やその保護者にとって魅力的なキャッチコピーとはどのようなものか。一人一人が生み出した言葉をもとに意見を交流します。交流をとおして、子どもがどのような結論に至るのかに注目です。	池田 千尋
⑦ 国語	2 C	心を描く	新型コロナウイルスとその予防策による自分自身の心の変化を、書くことで見つめます。	村上 智彦

		(作文)	昨年度末の臨時休業から現在までの状況は、私の行動や考え方にどのような変化をもたらしたのか。仲間と互いの作文を読み合い、意見を交流する中で、子どもがどのような考えに至るのかに注目です。	
⑧ 社会	3 A	チャレンジ！キャリアアップ社会 (生産と労働)	終身雇用が終わるかもしれない。経団連会長の言葉に出会った子どもは、これからの働き方に関心を高めました。企業を訪れ、労働者を採用する側の言葉に耳を傾けます。一方、雇用関係に縛られない自由な働き方に着目した子どもは、その可能性を探ります。これからの働き方はどうなるのか。未来の自分を重ね合わせながら、話し合う子どもの姿に注目です。	野村 和彦
⑨ 保体	1 D	Be the King of Play ! 『スポーツ鬼ごっこ』 (体づくり運動)	スポーツ鬼ごっこにのめりこみ、たくさんの練習ゲームを続けてきました。攻めるだけでは勝てない、守るだけでも勝てない。そんな種目の奥深さに気づき、「勝ち点を稼ぐためには、どのような試合運びをすればよいか」という問題を見いだしました。1点を争う緊迫したゲームを制するため、仲間とともに心を通わせてプレイする子どもの姿に注目です。	大野 孝輔
⑩ 数学	1 B	あなたのランクは？ 附中度チェック (資料の活用)	「附中生らしい」とは何だろう。「附中生らしい姿」とはどんな姿だろう。考えを進める中で、「附中度(附中生らしさ)」を計測すべく、項目、計測方法、判定方法を考察していきます。集めたデータを用いて、よりよい附中度チェックにすべく、考察を重ねる子どもの姿に注目です。	大鹿 兼作
⑪ 理科	2 D	あなたがいるから輝ける (いろいろな化学変化)	中間報告会を行い、蛍光液の組み合わせで好きな色を作れることがわかりました。そして、「明るさや発光時間を調整するにはどのようにすればよいか」という問題を見いだしました。現在、薬品の成分や比、どの薬品の効果で発光しているかの仕組みなどに着目して追究を進めています。明るさや発光時間のよりよい調整方法に迫っていく子どもの姿に注目です。	岩脇 芳弘
⑫ 英語	3 D	Open the New World (Japan in the World)	ゲームといえば娯楽と捉えていた子どもは、公式なスポーツの大会にeスポーツが採用されることに違和感を覚えました。そして、eスポーツはスポーツといえるのかという問題について、外国と日本でのスポーツに対する考え方の違いや、eスポーツが生み出す新たな価値について考える子どもの姿に注目です。	渡邊 康平
⑬ 音楽	2 B	CMソングでクラスPR 大作戦！(創作)	CMソングには、思わず口ずさんでしまうほど印象に残るものがあります。そんなCMソングにはどんな音楽的特徴があるのでしょうか。子どもは、短い旋律にクラスへの思いを込めたCMソングづくりに挑戦します。聴く人の耳に残るよ	野々山千芳

			うなCMソングにするにはどんな工夫をしたらよいか、仲間とともに試行錯誤しながら追究する姿に注目です。	
⑭ 美術	1 C	「わからないもの」への挑戦 (現代アート鑑賞)	意見交流を経て、子どもは、鑑賞者としてどう現代アートと向き合えばよいかという問題を見いだしました。そして、豊田市美術館で本物の作品と出会い、鑑賞することで、自分の見方を深めていきました。作者の思い、鑑賞の考え、作品の見た目、さまざまな見方をする中で、自分だけの現代アートとの向き合い方を追究していく子どもの姿に注目です。	那須 弘典
⑮ 数学	2 B	ジャッジで決まる運命 (確率)	「シャット・ザ・ボックスの必勝法は何か」をテーマに意見交流を行いました。そして、「運もあるが、確率をもとに戦略を考えるからこそ、このゲームは楽しい」という思いをもち、「確率をもとにすれば、倒せる札が多くなり、パーフェクトを目ざせるのではないか」という問題を見いだしました。よりよい倒し方を見つけようとする子どもの姿に注目です。	松村 謙二
⑯ 理科	3 D	ピタゴラジャンプ (仕事とエネルギー)	中間報告会を経て、条件に合うルールコースターのつくりがわかってきました。より遠くに球を飛ばすためには、球が最初にもつ位置エネルギーをどのようにジャンプに生かすかが重要そうです。球のもつエネルギーの変化に着目し、緩急の山のつくりやジャンプ台からの発射角度などを工夫しながら、大ジャンプに向けて追究する子どもの姿に注目です。	八木 悟郎
⑰ 理科	1 C	サウンド オブ ストリ ングス (音の性質)	糸から音を出すことの難しさを感じ、困り感が高まったところで中間報告会を行いました。水や松脂を塗ることで音を出すことができることを見だし、音を大きくする仕組みがわかってきました。そして「音階を出すためにはどうしたらいいだろう」という問題を見いだしました。振動や糸の長さに着目しながら癒しの音楽を奏でるために、音階を出す仕組みを追究する子どもの姿に注目です。	花井咲絵子
⑱ 英語	2 A	The Gift of Giving (Living Together)	The World Giving Index によると日本のボランティア参加率は諸外国と比べて極めて低い。子どもは「外国の人のように日本人がボランティアに積極的に参加するにはどうすべきか」考えています。制度、教育、活動内容、意識の違いに迫り、奉仕活動と考えられているボランティアをとおして、日本人と外国の人との考えを比較しながら、ボランティアの定義を考え、意見交流に臨む子どもの姿に注目です。	井戸田真征